2025年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月14日

上場会社名 一正蒲鉾株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2904 URL https://www.ichimasa.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 野崎 正博
 社長執行役員
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 高島 正樹 (TEL) 025-270-7111
 経営管理本部長
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第3四半期の連結業績(2024年7月1日~2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第3四半期	27,448	0.4	1,145	△22.1	1,160	△20.6	955	△11.4
2024年6月期第3四半期	27,332	6.2	1,470	—	1,461	—	1,078	517.1

(注) 包括利益 2025年6月期第3四半期 792百万円(△33.6%) 2024年6月期第3四半期 1,192百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年6月期第3四半期	円 銭 51.97	円 銭 —
2024年6月期第3四半期	58.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年6月期第3四半期	百万円 30,696	百万円 15,135	% 49.0
2024年6月期	31,392	14,504	46.2

(参考) 自己資本 2025年6月期第3四半期 15,046百万円 2024年6月期 14,504百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年6月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 12.00	円 銭 12.00
2025年6月期	—	0.00	—	—	—
2025年6月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,500	5.8	1,300	2.3	1,350	8.2	960	0.3	52.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) PT. KML ICHIMASA FOODS

期中における連結範囲の重要な変更に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年6月期3Q	18,590,000株	2024年6月期	18,590,000株
------------	-------------	----------	-------------

- ② 期末自己株式数

2025年6月期3Q	281,988株	2024年6月期	212,088株
------------	----------	----------	----------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年6月期3Q	18,382,962株	2024年6月期3Q	18,377,912株
------------	-------------	------------	-------------

当社は「株式給付信託(BBT)」を導入しており、期末自己株式数については、「株式給付信託(BBT)」が保有する当社株式(2025年6月期3Q216,900株、2024年6月期147,000株)が含まれています。また、期中平均株式数(四半期累計)の計算において控除する自己株式については、「株式給付信託(BBT)」が保有する当社株式(2025年6月期3Q141,950株、2024年6月期3Q147,000株)を含めています。

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年7月1日～2025年3月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド消費の増加等により景気は緩やかな回復傾向で推移していますが、原材料や資材価格の高止まりの影響による物価上昇や、長期化する不安定な世界情勢、為替動向等依然として先行き不透明な状況が続いています。

食品業界においては、コスト上昇に対応した商品価格の値上げが継続するなかで、消費者の生活防衛意識は今まで以上に強まっており、当社グループを取り巻く経営環境はかつてない厳しさとなっています。

このような状況のもと、当社グループでは、“ICHIMASA30ビジョン”(2045年度のありたい姿)を目指し、2021年7月から2026年6月までの第二次中期経営計画の4年目を迎え、“国内外のマーケットへの果敢なチャレンジを通じ、事業の成長力・収益力基盤を確立し、ファーストステージ「成長軌道への5年」を確実に実現する。”を基本方針として経営課題に取り組んでいます。

また、地球環境の維持は企業活動の持続的な成長・発展のためには不可欠であり、「持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)」の達成を目指し、当社グループもステークホルダーの皆さまと協働しながらサステナブルな課題の解決に取り組んでいます。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高274億48百万円(前年同四半期比1億15百万円(0.4%)の増加)、営業利益は11億45百万円(前年同四半期比3億24百万円(22.1%)の減少)、経常利益は11億60百万円(前年同四半期比3億1百万円(20.6%)の減少)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億55百万円(前年同四半期比1億23百万円(11.4%)の減少)となりました。

セグメントの状況は、次のとおりです。

(水産練製品・惣菜事業)

売上は、スティックタイプのカニかまを中心に販売数量が伸長し、消費者ニーズを捉えた保存性・利便性に優れた商品も堅調に推移したため、前年同期を上回りました。また、おせち商材についても蒲鉾・伊達巻が安定した販売を維持し、農林水産大臣賞を受賞した「京禄」の販売が大幅に伸長したことなどにより、前年同期を上回りました。

利益は、工場の生産性が向上しているものの、原材料費や労務費等のコストが増加した影響により前年同期を下回りました。

以上の結果、当セグメントの売上高は240億99百万円(前年同四半期比1億37百万円(0.6%)の増加)、セグメント利益(営業利益)は10億40百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)は12億97百万円)となりました。

(きのこ事業)

売上は、天候不順の影響による野菜の生育不良や相場高騰に伴うまいたけを含めたきのこ全体の需要増加により、販売価格が前年を上回ったことが寄与し、きのこの需要が高まる秋季の販売数量の伸び悩みが見られたものの、前年同期を上回りました。

利益は、原材料や労務費・エネルギー価格等の高騰が続き、包装部門の合理化・省人化によるコスト削減や、生産の効率化を図りましたが、上昇するコストを吸収しきれず、前年同期を下回りました。

以上の結果、当セグメントの売上高は30億88百万円(前年同四半期比19百万円(0.6%)の増加)、セグメント損失(営業損失)は6百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)は66百万円)となりました。

(運送事業・倉庫事業)

運送事業は、自社便事業の拡大に向けた新規顧客の獲得に加え、コスト管理の取組みを強化しましたが、主に輸入青果物の定期便減便ならびに設備投資関連費用の増加により売上・利益ともに前年同期を下回りました。

倉庫事業は、主に営業面における商談強化が奏功し荷役料収入が伸張しましたが、寄託者の原料調達方法が当用買いへ変化したことなどにより、在庫水準が低調に推移し、売上は前年同期を下回りました。一方、自社倉庫の継続的なマネジメントにより、利益は前年同期を上回りました。

以上の結果、報告セグメントに含まれないその他の売上高は2億59百万円（前年同四半期比41百万円（13.7%）の減少）、セグメント利益（営業利益）は1億3百万円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）98百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は306億96百万円（前連結会計年度末比6億96百万円の減少）となりました。これは主に連結の範囲の変更によるのれんの計上並びに建物及び土地の増加の一方、現金及び預金並びに商品及び製品の減少によるものです。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は155億61百万円（前連結会計年度末比13億27百万円の減少）となりました。これは主に短期借入金の増加の一方、買掛金並びに未払金及び未払費用の減少によるものです。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は151億35百万円（前連結会計年度末比6億30百万円の増加）となりました。これは主に配当金の支払いの一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び非支配株主持分の増加によるものです。なお、自己資本比率は、46.2%から49.0%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の通期の連結業績予想については、2024年8月7日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,222,319	2,034,244
売掛金	3,841,001	3,734,202
商品及び製品	971,521	559,132
仕掛品	597,947	495,545
原材料及び貯蔵品	2,080,857	2,439,332
その他	178,943	224,354
貸倒引当金	△41,210	△1,723
流動資産合計	10,851,379	9,485,089
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,190,165	7,267,015
機械装置及び運搬具(純額)	5,181,371	5,742,852
工具、器具及び備品(純額)	197,010	225,434
土地	3,179,344	3,588,502
リース資産(純額)	1,597,393	1,511,469
建設仮勘定	297,623	190,140
有形固定資産合計	17,642,909	18,525,414
無形固定資産		
のれん	—	118,895
その他	354,260	316,795
無形固定資産合計	354,260	435,691
投資その他の資産		
投資有価証券	2,103,756	1,837,286
繰延税金資産	87,223	90,149
その他	377,854	347,331
貸倒引当金	△24,500	△24,500
投資その他の資産合計	2,544,333	2,250,267
固定資産合計	20,541,503	21,211,373
資産合計	31,392,883	30,696,462
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,949,276	1,407,593
短期借入金	2,236,296	2,824,236
未払法人税等	245,478	298,872
賞与引当金	85,959	347,885
役員賞与引当金	25,668	—
未払金及び未払費用	2,954,162	1,817,624
その他	929,123	584,483
流動負債合計	8,425,963	7,280,695

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
固定負債		
長期借入金	6,255,285	6,139,542
リース債務	1,481,680	1,389,016
役員退職慰労引当金	42,675	43,012
役員株式給付引当金	133,434	106,219
繰延税金負債	205,067	274,728
その他	344,357	327,888
固定負債合計	8,462,499	8,280,407
負債合計	16,888,463	15,561,102
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,000	940,000
資本剰余金	650,000	650,000
利益剰余金	11,917,459	12,650,515
自己株式	△166,135	△208,803
株主資本合計	13,341,323	14,031,711
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,112,416	1,043,015
為替換算調整勘定	50,679	△28,387
その他の包括利益累計額合計	1,163,096	1,014,627
非支配株主持分	—	89,021
純資産合計	14,504,420	15,135,359
負債純資産合計	31,392,883	30,696,462

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
売上高	27,332,916	27,448,132
売上原価	21,504,494	21,632,943
売上総利益	5,828,421	5,815,188
販売費及び一般管理費	4,358,388	4,670,046
営業利益	1,470,033	1,145,141
営業外収益		
受取利息	341	532
受取配当金	15,743	16,472
受取賃貸料	10,227	9,085
受取手数料	19,839	20,908
売電収入	12,805	11,604
貸倒引当金戻入額	—	39,485
雑収入	15,127	28,050
営業外収益合計	74,086	126,140
営業外費用		
支払利息	44,214	58,120
減価償却費	8,091	—
支払手数料	9,500	19,900
持分法による投資損失	20,178	8,693
為替差損	—	24,010
雑損失	596	505
営業外費用合計	82,580	111,230
経常利益	1,461,538	1,160,050
特別利益		
固定資産売却益	520	32
投資有価証券売却益	162,520	118,915
段階取得に係る差益	—	126,523
特別利益合計	163,040	245,472
特別損失		
固定資産除却損	3,939	5,274
固定資産売却損	1,288	—
工場解体費用	—	49,909
特別損失合計	5,228	55,183
税金等調整前四半期純利益	1,619,350	1,350,339
法人税、住民税及び事業税	355,743	383,944
法人税等調整額	184,944	18,942
法人税等合計	540,688	402,887
四半期純利益	1,078,661	947,452
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△7,901
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,078,661	955,354

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	1,078,661	947,452
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	101,000	△69,401
為替換算調整勘定	—	△35,196
持分法適用会社に対する持分相当額	12,936	△50,679
その他の包括利益合計	113,937	△155,277
四半期包括利益	1,192,598	792,174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,192,598	806,885
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△14,710

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

中間連結会計期間において、当社の持分法適用関連会社であったPT. KML ICHIMASA FOODSの株式を追加取得し連結子会社化したため、連結の範囲に含めています。なお、2024年12月31日をみなし取得日としており、中間連結会計期間においては貸借対照表のみ連結し、当第3四半期連結会計期間より損益計算書を連結しています。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っています。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっています。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	1,204,746千円	1,348,937千円
のれん償却額	—	6,548

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	23,962,498	3,069,744	27,032,243	300,672	27,332,916	—	27,332,916
外部顧客への売上高	23,962,498	3,069,744	27,032,243	300,672	27,332,916	—	27,332,916
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	434,091	434,091	△434,091	—
計	23,962,498	3,069,744	27,032,243	734,764	27,767,007	△434,091	27,332,916
セグメント利益	1,297,402	66,121	1,363,524	98,864	1,462,388	7,644	1,470,033

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない運送事業、倉庫事業セグメントです。

2 セグメント利益の調整額7,644千円は、主にセグメント間取引消去です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	24,099,756	3,088,842	27,188,599	259,533	27,448,132	—	27,448,132
外部顧客への売上高	24,099,756	3,088,842	27,188,599	259,533	27,448,132	—	27,448,132
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	463,245	463,245	△463,245	—
計	24,099,756	3,088,842	27,188,599	722,778	27,911,377	△463,245	27,448,132
セグメント利益 又は損失(△)	1,040,611	△6,473	1,034,137	103,650	1,137,788	7,353	1,145,141

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない運送事業、倉庫事業セグメントです。

2 セグメント利益の調整額7,353千円は、主にセグメント間取引消去です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間において、当社の持分法適用関連会社であったPT.KML ICHIMASA FOODSの株式を追加取得し連結子会社化したため、「水産練製品・惣菜事業」セグメントにおいてのれん133,404千円を計上しています。